

東京駅から東御苑、神田へ

初夏の都心を散策し、都心ならではの高層ビル、歴史建物を眺め、都心とは思えぬ皇居内の庭園で、心穏やかに鳥のさえずりを楽しみました。

期 間：2016年6月8日（水曜）日帰り 解散4時

参加費：1,000円

自己負担：交通費（現地往復）、昼食代など

昼 食：各自お好みの弁当を購入東御苑茶屋で賞味

集 合：JR 東京駅北口 改札口 午前10時

懇親会：解散後有志にて

神田ランチョンビールとソーセージ

参加者：22名（リーダー・サブリーダー含む）

リーダー：村上有三

サブリーダー：神山清英



東御苑にて

東京駅

東京の表玄関とも言うべき東京駅の丸の内北口で集合して、まずは東京駅構内の不思議を見物。

辰野金吾設計の赤レンガ造りの丸の内口駅舎は新しくなったが、2003年に国の重要文化財に指定されている。又、東京駅とアムステルダム駅の類似について東京駅を見ながら比較しました。

その後、元中央郵便局のKITTEにて各自好み弁当を買って、丸の内界隈を散策し皇居東御苑に向かいました。天気は、梅雨時期の前でしたが、少し暑いくらいでしたが、心地よい散策でした。

皇居東御苑

皇居東御苑（こうきょひがしぎょえん）は、東京都千代田区の皇居の東側に付属している広さ約21ヘクタールの庭園。宮内庁の管轄当地はかつての江戸城の本丸・二の丸・三の丸跡に位置し、少し離れた場所の西の丸を含めたこの範囲のことを江戸城といった。

大手門より同心番所、百人番所を通り大きな石垣に驚き、松の廊下跡などを見学し持参の駅弁で御苑内にて昼食をとりました。諏訪の茶屋など見学の後、天守台を見て御苑をでて、北の丸公園をみて、神田まで歩きました。



江戸城天守台の跡 見晴らし絶景

懇親会は、西村さんのご好意により「神田ランチョン」にてビールと名物のハムなどを頂き一日の疲れを取りました。



天守台からは、丸の内が指呼の間



二の丸跡

が生い茂り初夏の風がフィトンチッドを贈りものしてくれました。都心とは思えぬ心地よさを味わいました。その後、北の丸公園から古書街神田へ足を延ばし、老舗のビアホールランチョンで打ち上げをしました。

都心に残る鬱蒼とした緑の集積地、明治以来の歴史を刻むレンガ造り、知恵と知識の証の古書街、ハイカラさんの時代からのビアホール、・・・場面が次々に変化して大いに楽しんだ一日でした。

ありがとうございました。

参加感想文

都心の風景！

三宅まり子

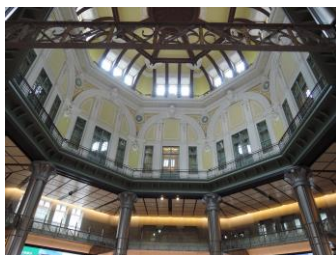
東京駅丸の内口に集合。村上リーダーが纏めてくださった5枚のレジメをもらいました。東京駅の空中権やオランダ・アムステルダム中央駅は東京駅のモデではないという、興味深い話を聞けました。最大のハイライトは皇居東御苑で、百人 番所・富士見櫓・松の大廊下跡・天守台等を見学。殊に二の丸庭園と盛りの菖蒲田が美しく、感激しました。本丸大芝生にシートを広げてのお昼も清々しく、前にも少しのぞいた事はありませんが、今回じっくり案内して頂き、こんなに素晴らしい庭園が、東京駅近くにあった事を再認識しました。正に、灯台下暗しの思いです。お話をした会員の方が、「リーダーが心を込めて催してくださる国内旅行に、参加しないと勿体ない」と感想を述べられていましたが、当方も全く同感です。リーダーに感謝しつつ、今後も国内旅行に参加します。



いずれがアヤメかカキツバタ

神山清英

東京駅の改札口に集合し、北口改札の天井の由緒ある彫刻の由緒を知りました。次に、リニューアルされた旧中央郵便局に向かいました。顔なじみの皆様と和気あいあいとゆっくり移動です。都心に定着したブランド通りを散策し、御幸通りから皇居東御苑へブラブラとです。皇居の中は緑



北の丸公園

江戸城 田安門



田安門を仰ぎ見る



都心の高層ビル



一輪の花が醸す安らぎ